

TDSE、プロダクト事業の製品強化

QUID 製品機能アップグレードについて

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹、証券コード：7046）は、プロダクト事業の主力製品である QUID 製品に関し、生成 AI による要約機能『AI Summary (β版)』、また TikTok アカウント分析機能がアップグレードされましたのでお知らせいたします。（対象期間：2024年4月～6月）

当社は、2023年度より3か年に及ぶ中期経営計画「MISSION2025」を始動させ、プロダクト事業を第2の事業の柱として確立させることで、将来の飛躍を目指すこととしています。「MISSION2025」では、それらプロダクト事業を確立させるための第1フェーズとして位置づけ、サービスラインナップ充実を図るものとし、第2フェーズとなる次期中計ゴールの2028年度には『プロダクト事業10億以上を目指す』ことを掲げております。

SNS分析製品『Quid Monitor』において、検索ワードを自動生成する機能『AI Search※1』を搭載した旨昨年8月にお知らせしましたが、米 QUID 社では企業の戦略策定における利便性向上に向けた開発を進めており、このたび新たな生成 AI 機能『AI Summary (β版)』を搭載しております。**『AI Summary (β版)』は、QUID 社がもつ業界をリードする膨大なソーシャルおよび市場データセットと独自の高度な生成 AI モデルにより、ニュース・ブログ・ソーシャルなど、多種多様なメディア・データから進行中の何千何万もの消費者の会話をワンクリックで要約する機能**です。QUID ユーザー企業は、ワンクリックで自動的に客観的で洞察に満ちた結果が提供されることで、データ解読に費やす多くの時間を削減することに繋がり、**本来企画部門及びマーケティング部門に求められる競争力を獲得するための戦略的視点の企画開発に多くの時間を費やすことができます**。このほか、クライアント様の案件分析を代行する広告代理店様・コンサルティング会社様も分析時間の大幅な削減が期待できます。現在『Quid Monitor』『Quid Discover』を対象に英語での出力のみ対応いたします※2。

また、『Quid Monitor』では従前から TikTok について、一部データのキーワード分析の可能でしたが、このたびアカウント分析機能も追加で搭載いたしました。今回の機能強化により、TikTok アカウントの再生回数/いいね数/コメント数/コメント内容/シェア数といったエンゲージメント指標の幅広い分析が可能となり、X (旧 Twitter)・Facebook・Instagram など複数 SNS 分析により高度なインサイトを得ることが可能となります。

当社は、「MISSION2025」の取組として、ソーシャルメディアデータ分析の高度化により、マーケティングや広告運用に役立つサービスとして、5月に提供開始した独自 AI 製品『TDSE KAIZODE』※3をラインナップに加え、引き続き「レコメンデーション」「トレンド予兆」「投稿文自動生成」など競争力強化につながる企画開発を進めてまいります。また、SNS マーケティング市場でリーダー的存在として位置付けられることを目指すためにも、「MISSION2025」に挙げた取組に留まることなく、新たな取組に果敢に取り組み、事業への貢献度も高められるよう全社を挙げて推進してまいります。なお、本件が業績に与える影響は軽微となります。

■ 『AI Summary』の詳細概要

1、詳細概要
<p>成長するトレンド・発展する危機・さらには文化発生に対する対応が、企業の競争力向上に必要であり、インサイトをより迅速に解読できる AI 機能を装備することが求められています。</p> <p>『AI Summary』は、数秒以内に、膨大な量の投稿に目を通すことなく、何が起きているかを正確に把握できます。特定のトピックやテーマを選定し、業界をリードするソーシャルおよび市場データセットと組み合わせた大規模言語モデル(LLM)テクノロジーを活用し、洞察を得ることができます。<u>また、本機能ではリアルタイムデータと生成 AI の力を統合するため、商用 LLM(トレーニングデータはトレーニングデータの終わりまでしかのコンテキストを提供しない)ではなしえなかったギャップも回避することができます。何十億ものデータポイントを解読し、最も関連性の高いパターンを発見し、実用的なインサイトを生み出すのは時間のかかる作業となりますが、その時間が短縮されます。</u></p>
2、メリットおよび効果
<ul style="list-style-type: none">・膨大な投稿内容を1つずつ調べる必要がなくなる・大量データにある重要なアイデアを精度高く抽出する工程が自動化される・分析対象となるコンテキストをすばやく取得できる・読み取る側の属人的な人為的エラーを減らすことができる・戦略策定までに時間を要していた時間を大幅に短縮できる
3、機能拡張予定
<ul style="list-style-type: none">・現在、出力形態は英語のみの対応ですが、日本語による投稿分析は可能です。今後、日本語による出力にも対応予定です。※2・また、正式版リリースは2024年夏を予定されています。

※1：2023年8月2日開示 「NetBase」にChatGPT機能を用いた『AI Search』搭載

『AI Search』は一つの検索キーワードを入力するだけで、検索候補となる関連キーワードを複数自動生成するAI機能を備えており、使えば使うほど精度が向上する機能となっております。

※3：2024年5月7日開示 リサーチ型テキストマイニングツール『TDSE KAIZODE』を提供開始

■ QUID 製品に関する内容はこちらから

Quid Monitor 製品情報 <https://quid.tdse.jp/>

Quid Discover 製品情報 https://quid.tdse.jp/discover_lp/

■ 本製品の性能や販売に関する問い合わせ先

TDSE 株式会社 プロダクト本部 大和田

問い合わせ先 <https://quid.tdse.jp/contact/>

■ 本件に関する報道機関や投資家からの問い合わせ先

受付 WEB：<https://www.tdse.jp/>

E-mail：Investors@tdse.jp